



『生の声を届けたい』本で寄り添う復興支援 「走れ！移動図書館」鎌倉幸子さんを囲む会



移動図書館での活動や経験などを写真を交え紹介

東日本大震災発生から5年を迎えた今年、震災直後から被災地に移動図書館を走らせ復興支援を行った鎌倉幸子さんを招き、2月19日、講演会を開きました。

鎌倉さんは、震災以前から公益社団法人シャントイ国際ボランティア会の一員として、カンボジアなどで子どもたちなどに読書の楽しさなどを広める活動を展開、そこで移動図書館事業を始めたことなどを紹介しました。

震災の際も、発生直後から岩手県沿岸部でボランティアをはじめました。その時に、「支援物資を本当に必要としている所にそれが届

いていない」「本を手にする機会を途切れさせないお手伝いをしたい」との声が、移動図書館を始めるきっかけになりました。

「震災後泣いていないから、泣ける本はないか」「手を動かさないと時間を持て余してしまう」など、被災地の声を受け止めた鎌倉さん。かつて、カンボジアで出会った少女が話した「お菓子は食べたらなくなるけど、絵本は何度でも読めるから好き」という言葉を思い出し、「こんな時だからこそ、今出会う本が、子どもたちの一生の支えになる」と活動を続けるうえで心の支えになったと話しました。

被災地での活動は、軽トラックに備え付けの本棚のほか、机やイス、テントなどを積み込んで始まりました。鎌倉さんは、巡回先で人々が少しづつ元氣を取り戻していった様子にふれ、「古代エジプトにあったテーベの図書館は『魂の治療所』といわれていた」と話し、「移動図書館の活動は、出会った人、住民や学校の声など、ニーズをくみ取るといふ重要な役割を果たしている。そこで『人の心』に寄り添い、共感・共有していくことが大切」と、会場に語りかけていました。



ぴのちゃんが教える

図書館の歩き方

皆さん、図書館は本を借りるだけのところだと思いませんか？初心者でも安心な図書館活用方法を紹介します。

図書館活用ガイド ～その⑨：ココにしかない出会いがあなたを待っています～

これからも「身近に感じられる場所」を目指して

今年度は、町図書館開館20周年ということで、あらためて図書館の利用の仕方や見どころなどを紹介してきましたが、いかがだったでしょうか。

「図書館でこんな本や資料も見られるんだ」「図書館ってこんな利用の仕方もあったのか」など、身近に感じてもらえたらうれしいです。

現在、図書館では、小中学生のジュニアスタッフの皆さんが活動しています。本の整理やおはなし会への出演のほか、日野町に伝わる話をブラックライト紙芝居にしてくれたり活躍中です！館内で見かけたら、声をかけてみてくださいね。



ジュニアスタッフ出演のおはなし会、ぜひ来てくださいね！

図書館利用あれこれ



本は読みたいけど、文字が見えづらかったり、体が動かしづらかったりするっていう声を聞くとよ

大きい文字で書いてある大活字本もおすすめだけど、耳から聞く録音図書（デイジー図書）っていう本もあるんだよ。

詳しくは、図書館のスタッフの皆さんに聞いてみてね♪



【問合せ】 町図書館（電話 72-1300）

町の「タクシー利用者補助金」制度のご案内



町では、75歳以上で自動車の運転ができない人、バス停から遠い地域の高齢者や要介護認定者、身体障害者手帳を持っている人などのタクシー料金の一部を助成する「タクシー利用者補助金制度」を行っています。利用負担額は5割程度で、町内であれば片道およそ1,000円で目的地まで移動できます。まだ申請していない人や75歳以上で運転免許証を自主返納する予定のある人など、ぜひこの制度を活用ください。

- ◆**対象者** 町内に住所がある、①75歳以上の人で、自動車の運転ができない人
②65歳以上の人で、地域の事情などによりタクシー以外の公共交通機関の利用が難しく、かつ自動車の運転ができない人
町内に住所があり、③在宅で要介護認定を受けている人（要支援はのぞく）
④身体障害手帳を持っている人（一部対象でない人もいます）
- ◆**助成内容** 対象者が日野交通（株）または日南交通（有）を利用した場合にタクシー料金の一部を助成します。※日本交通（株）根雨営業所は、日野交通（株）へ社名変更しました。
【負担額イメージ】
①メーター額が2,080円未満のときはおよそ1/2の額
②メーター額が2,080円以上4,780円未満のときは1,000円
③メーター額が4,780円を超えたときは、（メーター額－割引額（1割）－3,300円）
- ◆**申請方法** ・役場企画政策課または役場黒坂支所へ申し込んでください。申込書は各申込み場所にあります。
・審査の結果、対象となる人には、助成券の枚数は1人につき1カ月あたり4枚を発行します。なお、自立支援医療（人工透析）を受給している人は追加発行します。
・申し込みの際、介護保険被保険者証、身体障害者手帳がある人は持参ください。

問合せ先：役場企画政策課（電話 72-0332）

協力隊通信 vol.3

高下 隊員編① “東京大阪珍道中・まめなか屋”

地域おこし協力隊として活動する4人の隊員の日々の活動などを紹介します。第3回目となる今回は、高下莉奈隊員（舟場）編です。



こんにちは、協力隊の高下です！
今月は着任早々、東京と大阪へ出張に行ってきました。

東京では、新橋にある「とっとり・おかやま」のアンテナショップで、じゃぶ汁やスズハラモチ、きのこバーガーの試食のほか、奥日野米、エゴマ、みそなどの特産品販売を行いました。早速、午前中から多くの人でにぎわって、スタッフおそろいの「まめなか屋」法被やオリジナル

曲で皆さんをおもてなししました。東京在住の県内出身者の方にもたくさん来ていただき、楽しく過ごせました。

また、大阪では、JR主催の「山陰いいものマルシェ」にて、町の特産品をPR。特産品の配置から何からすべて初めてで、レイアウトを何回も変えたり、商品について勉強しながら説明したりと、苦戦しながらもなんとか一週間乗り切ることができました。ほかの出店者の方とも仲良くさせていただき、勉強になることがたくさんあって楽しかったです。

私は、町の情報発信や、農業の6次産業化に向けての仕事をすることが多いのですが、日野町のいろんなことを知らなければ、こうした仕事できません。これからたくさん勉強してきますので、皆さんいろいろ教えてくださいね！